

粕谷和夫の観察日記。八王子に残る桑畑です。写真の前のコブ塊のようなのが冬の剪定が終わった株、奥で枝が立っているのが剪定前の桑です。桑は毎年2mくらい枝を伸ばし、毎冬剪定されます。剪定後は地面から1m弱高くなっているのは春、桑の新芽が晩霜の被害に合わないための対策です。秋の夕方セグロセキレイが「ねぐら」にしています。

紅葉台



新聞

第173号

2025年

3月15日

発行人：関谷 孝

法政大学多摩キャンパス ♥ 憩いの場 ♥



以前「グリーンヒル寺田」の紹介をしました。西隣には広大な法政大学多摩キャンパスがあります。最近ちょっと物騒な事件があり、一躍全国に名前が知れ渡りました。

法政大学多摩キャンパスは、東京都町田市に位置し、豊かな自然に囲まれた開放的なキャンパスです。四季折々の風景が楽しめる環境で、学生たちは学業だけでなく、自然との触れ合いも楽しむことができます。晴れた日は遠く富士山が見えました。

多摩キャンパスには、経済学部、社会学部、現代福祉学部、スポーツ健康学部などの学部があり、幅広い分野で学ぶことができます。また、キャンパス内には最新の設備が整っており、学生たちが快適に学べる環境が整っています。交通アクセスも良好で、めじろ台駅からバスが出ています。約10分で到着します。

見学に行った日は、親切な学生さんに自転車置き場や図書館を案内してもらいました。若い人と話すことも楽しいですね。

図書館には大原文庫があり、社会科学を中心とした多岐にわたる分野の本が収蔵されています。特に、政治、経済、労働、福祉、教育などの分野に関する書籍が豊富です。また、哲学、歴史、自然科学などの分野の書籍も含まれています。実は以前新聞を一緒に発行していた是枝さんはここで司書の仕事をしていました。そんなご縁があります。重厚な図書館でたくさんの本に圧倒されました。近くの図書館よりここで本を借りると待ちが少ないように思いました。法政大学多摩キャンパスの図書館は、一般の方も利用することができます。地域住民や他大学の学生・教職員など、特定の条件を満たす方が利用可能です。それを証明する身分証明書と最初の登録料として1000円かかりますが翌年からは毎年4月に更新するので500円/年支払います。現金ではなくカードなどのキャッシュレスでの支払いになります。細かな利用条件や手続きについては、法政大学多摩図書館の公式サイトで確認してみてください。



また、たくさんの学食があるので紹介します。

1. 毎日50品目以上のメニューから選べます。現金や交通系電子マネー、クレジットカードでの支払いが可能です。
2. **11号館食堂（経済学部食堂）**：11号館1階にあり、こちらも多様なメニューが揃っています。
3. **17号館食堂（現代福祉学部ベーカリー）**：17号館地下1階にあり、焼き立てのパンが楽しめます。

4. **総合棟食堂**：総合棟1階にあり、日替わりランチなどが人気です。

5. **18号館食堂（スポーツ健康学部食堂）**：18号館1階にあり、専属栄養士による日替わりメニューが提供されています。

6. **EGG DOME スローワールドカフェ**：16号館2階にあり、日替わり丼やプレートが楽しめます。

それぞれの食堂で、豊富なメニューと快適な食事環境が提供されています。

エッグドーム内の食堂「わたぼうし」では、障がいのある方々が一緒に働いています。彼らは、カフェやショップでの業務を通じて、地域社会との交流を深めながら、自立を目指しています。本を読んで食事をして大学の雰囲気を楽しむのもいいものですね。大学も市民に施設を開放しています。こんな素晴らしい施設を使用できるのはいいですね。たまには大学でゆったりと過ごすのもいいのではないのでしょうか。（2ページ目に地図掲載）



粕谷和夫の観察日記



早咲きのカワツザクラの膨らんだ蕾の中のジョウビタキ雄です。2025年2月9日八王子・小田野中央公園。公園の掲示板には3月15日にサクラ祭り開催のポスターが貼ってありました。



八王子・北浅川の上流、北浅川の北側の小高い丘の木のとっぺんにノスリ（鷹）が羽根を休めているとこの場所を縄張りしているトビがやってきて、ノスリを追い出そうとして襲いかかりました。トビの襲撃に羽根を広げて受けて立つノスリです。



昨年11月28日に八王子・北浅川で観察したタシギをこの新聞で紹介しました。2月9日、同じ場所で採餌中のタシギに出会いました。昨年秋のものと同一個体と推定され、この場所で越冬したものと思われます。1羽でひっそりの冬越しですね。

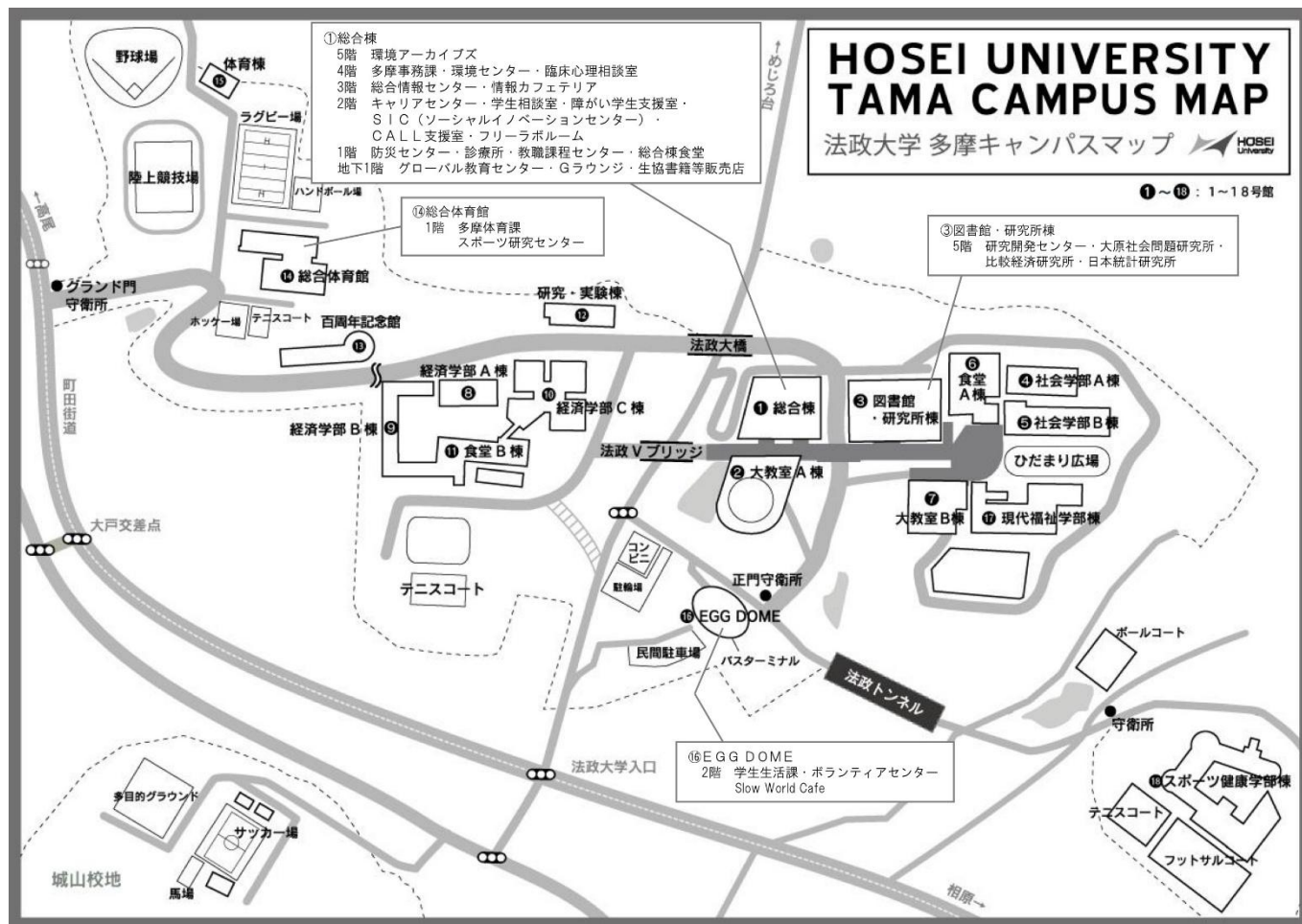
散歩の達人の紹介

八王子・相模原は政令指定都市です。養蚕が盛んだった八王子から生糸を運んだ横浜鉄道は相模原を経て横浜へ。街歩きグルメとアウトドアの沿線散歩に。（市役所配布）



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。

粕谷和夫の観察日記。八王子に残る桑畑です。写真の前のコブ塊のようなのが冬の剪定が終わった株、奥で枝が立っているのが剪定前の桑です。桑は毎年2mくらい枝を伸ばし、毎冬剪定されます。剪定後は地面から1m弱高くなっているのは春、桑の新芽が晩霜の被害に合わないための対策です。秋の夕方セグロセキレイが「ねぐら」にしています。



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」の HP に公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。